

# 部 局 経 営 方 針

平成 2 0 年度

薩摩川内市

部局名	企画政策部（広報室）	部局長名	知敷 憲一郎
-----	------------	------	--------

部局の 経営資源	当初予算	4,123万円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		7人	人	7人

部局の使命 (組織の存在価値)	<p>企画政策部広報室の使命は、<b>広聴及び広報活動を充実し、開かれた市政を実現することである。</b></p> <p>広報薩摩川内及びホームページの リニューアルにより <b>広聴広報活動を充実する。</b></p>	組織目標像	<p>【施策の目標像】3年後</p> <p>(1) <b>広聴広報体制が確立している。</b></p> <p>(2) 広報活動の充実により<b>開かれた市政が実現する。</b></p> <p>【組織の目標像】3年後</p> <p>(1) <b>情報を共有できる組織</b></p> <p>(2) 市民の意見に<b>迅速な対応</b>ができる組織</p> <p>(3) 研修等で常に<b>資質向上</b>を目指す組織</p>
--------------------	--	-------	---

## 平成 2 0 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標 (めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況(年度中間)	年度末の達成状況
ふれあい市民会議の開催	9月までに7地域で開催	水引中・樋脇・入来・東郷・祁答院・下甕鹿島・里上甕地域で開催	・ 東郷・祁答院地域を除いて開催済。	
市政モニター制度の充実	アンケート調査を4回実施	市政に反映できる市民生活に密着したアンケート調査の実施	・ 7月(市民に分かりやすい公文書),10月(広報薩摩川内・市議会だより)の2回実施。	
リニューアル「広報薩摩川内」の構築	上半期までに「広報薩摩川内」リニューアル化を構築	(1) 広報委員会へ <b>市民6名の参画</b> により,市民目線での改善を推進 (2) 増ページにより,市民へ <b>細やかで豊富な情報</b> を発信 (3) 適時・的確な取材体制の確立	・ 第1回広報委員会を7月に開催し,市民目線での貴重な意見をいただいた。 ・ 6月10日号からリニューアル化とともに増ページし,好評を得ている。 ・ 広報紙発行業務の合間に,可能な限り取材に出向くよう努めた。	
市勢要覧の資料収集	薩摩川内市誕生5周年記念を意識した資料収集	(1) 年間スケジュールの適正管理で,適時な撮影及び <b>的確な資料収集</b> を実施	・ 「里のかずらたて」をはじめ季節ごとの写真撮影等資料収集中。	

# 部 局 経 営 方 針

平成 2 0 年度

薩摩川内市

		(2) 将来都市像「市民が創り 市民が育む 交流躍動都市」を意識した資料収集を実施		
薩摩川内市の P R	本市の魅力を情報発信し、交流人口増への支援	<p>(1) 薩摩川内会等郷土会等を活用し、DVD(おかえりなさい)及び広報紙等による情報発信</p> <p>(2) テレビ媒体の活用による年間を通じた情報発信</p> <p>(3) リニューアルしたホームページでタイムリーな情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京薩摩川内会、近畿川薩会及び郷土会等で広報紙を配布、故郷の情報に喜んでいただいた。</li> <li>・ 2 イベントのテレビ広報を 2 社から 61 本情報発信した。</li> <li>・ リニューアルされたホームページにより、タイムリーな情報を発信中。検索し易いと好評である。</li> </ul>	
年度中間総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 名増の充実した広報体制となり、6 月通常版(6/10 発行)の広報紙からリニューアル化と増ページを図ったことで、特集記事やまちの話題を豊富に掲載することができた。</li> <li>・ 市民目線での広報紙を目指すことから第 1 回広報委員会を 7 月に開催し、貴重な御意見をいただいた。今後 2 回開催予定。</li> <li>・ 広報担当者の資質向上を目的として、南日本新聞社写真部記者(橋口実昭氏)を講師に、写真撮影についての研修会を実施し、その後の写真撮影に成果が現れた。</li> </ul>			
年度末総括				